

さいたま市長メッセージ（令和4年12月22日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市における12月21日までの1週間の新規陽性者は、9,005人で、前週比約1.1倍という状況です。緩やかな増加が続いていますので、今後の推移が懸念されます。また、同時流行が懸念される季節性インフルエンザについては、本市では、今のところ、心配するような状況ではないものの、全国的には増加傾向にあることから、引き続き注意が必要です。

さて、これから年末年始を迎えるにあたり、市民の皆様へのお願いがあります。

年末年始の診療・検査体制は、本市を含む埼玉県全域において強化を図っておりますが、開院している医療機関が通常よりも少なくなります。

発熱外来が受診できない場合に備え、新型コロナウイルスとインフルエンザのワクチン接種のご検討と、検査キットや解熱鎮痛薬の事前購入にご協力をお願いします。

発熱などの症状がある場合は、まずは検査キットを用いてセルフチェックをしていただき、検査の結果が陽性だった場合には、埼玉県の陽性者登録窓口へご登録いただくようご協力をお願いします。

一方で、高齢者や基礎疾患を有する方、妊婦の方など重症化リスクの高い方は、喉の痛みや発熱などの症状が出た場合には、速やかに発熱外来を受診してください。

今年も、市民の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多大なるご理解、ご協力を賜りました。今年も残すところ、あと僅かとなりましたが、体調に十分注意し、良いお年を迎えていただきたいと思います。